

令和4年1月31日  
経 済 産 業 部  
障 害 福 祉 部

## 農福連携事業における公募型プロポーザルの選定結果について

農福連携事業の実施に向けて、農地管理及び農業経営並びに障害者の就労に関する知識及び経験を有する事業者を以下のとおり選定した。

1 選定事業者（受託事業者の候補者）  
株式会社電通国際情報サービス

2 選定にあたってのポイント

- ・組織力や実施体制の実現性。
- ・農園等での障害者雇用の創出等、障害者就労の充実。
- ・区内障害者施設と連携した農作業発注や収穫した農作物を使用した加工品開発等、工賃向上が期待できる具体的プラン。

3 公募型プロポーザル参加事業者数  
5 事業者

4 事業予定地  
2 ページに記載のとおり

5 事業開始の遅延及び補正予算（案）について

事業者選定委員会において、審査の過程で一部提案について追加質疑等の必要が生じたため、委員会を追加開催した。そのため、昨年9月の常任委員会で報告したスケジュールに遅れが生じ、土地整備を含めた準備の年度内の終了が見込めないことから、第1回定例会に繰越明許費の補正予算（案）を提案する予定である。

繰越明許費補正額：15,000千円（令和3年度予算額19,500千円）

6 その他

来年度の本格実施に向けて、令和3年度中に障害者等が参加する体験イベントの実施を検討している。

7 今後のスケジュール（予定）

令和4年2月	第1回定例会補正予算（案）提案
2月～3月	体験イベント実施
6月	農福連携事業開始

【事業予定地】

